

質問事項

- ◆最近の市発注事業の入札状況
- ◆佐原駅前複合公共施設の運営方針
- ◆公共施設の無償譲渡

根本義郎

ねもと よしろう 議員

おみがわこども園
無償譲渡は撤回すべき



おみがわこども園

議決前に施設無償譲渡を公募した行為は、議会軽視では

問 こども園の民営化公募に、施設譲渡の必要性はなかったのでは。

答 おみがわこども園は、譲渡後も公私連携協定に基づき小見川地域の幼児教育・保育の拠点としての機能が維持・継続されることから、譲渡により市の損失は発生せず、行政行為として正当なものであると認識しています。

なお、施設を譲渡しない場合、後々発生する施設修繕や設備更新などのコストを市が負担し続けることとなります。



令和4年度冬に開館予定の佐原駅周辺地区複合公共施設

問 複合公共施設の使い易さをめげり、よく事前調整・協議を求めろ。

答 市民説明会をはじめ管理運営ワークショップ、利用者団体との意見交換会などを開催し、市民や利用者からのご意見などを伺いながら事業を進めており、周辺地域の方々を含め広くご理解を得ているものと認識しています。

問 「予定価格の事前公表」は、入札が高止まり水準になっていないか。

答 予定価格と同額、または、予定価格との差が1%未満で応札となった件数については、工事に限定すると、令和元年度は136件のうち4件、令和2年度は148件のうち9件です。なお、事前公表であっても、競争原理は働いていると考えております。

市道I-57号線(桐谷小川)の新設工事は

質問事項

- ◆市道I-57号線の新設工事
- ◆令和4年産の主食用米の作付け
- ◆令和4年産の飼料用米

木村博

きむら ひろし 議員



現在の工事内容と今後の予定は。

答 令和3年度については、新里地区の約20M区間について、道路の盛り土工事を実施しています。今後は、未整備の約700M区間において、盛り土工事、排水整備工事および舗装工事などを予定しています。

令和4年産の主食用米の作付については

問 令和4年産の生産目安は。

問 工事の進捗状況は。

答 起点となります長岡地区から桐谷地区までの約2.8km区間については、合併以前に供用開始されており、合併後、未改良区間の桐谷地区から終点の小川地区までの約2.3kmについて、国の社会資本整備総合交付金および合併特例債を活用し事業を進めています。令和2年度末の状況としては、約1.6km区間において工事が完了しており、残りの新里地区から小川地区の約0.7kmについて事業を進めています。全体計画の延長に対する進捗率は約86.3%です。



市道I-57号線(新里地先)

令和4年産の主食用米の生産目安となる主食用米生産量は2万3311.7トン、面積換算では4089haです。令和3年産米と比較すると、350トン、613haの減少となっております。各農家への配分率として換算すると、一般農家への配分率が49%、昨年比8%の減となります。

令和4年産飼料用米作付支援・助成は

問 国・県・市の助成金額は。

答 国においては、令和3年度まで飼料用米の複数年契約3年以上の取り組みに対する10a当たり12000円の交付金について、令和4年度からは、6000円に減額となります。県においては、主食用米から飼料用米に新たに転換した面積に対する助成として、10a当たり10000円の助成が、令和4年度からは廃止となります。市単独の飼料用米出荷奨励金については、令和3年度は10a当たり8000円以内でありましたが、令和4年度は7000円以内として予算計上していません。

問 飼料米加工場の設置等計画は。

答 国の施策、主食用米価格の動向など注視しなければならぬと考えるが、市農協などの出資における飼料用米加工場の設置については、現時点では判断しかねます。